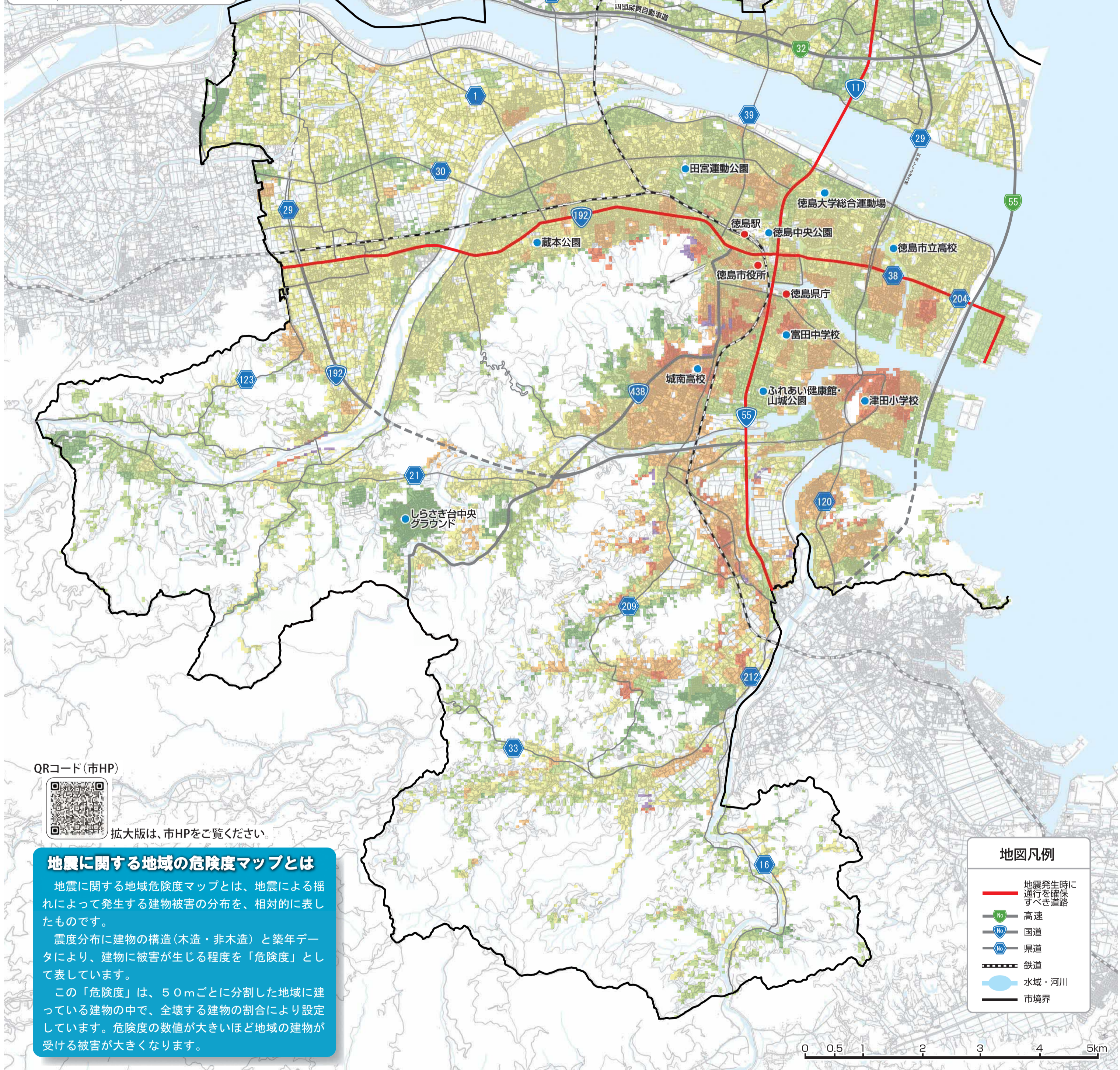


徳島市 地震に関する地域の危険度マップ

あなたの住まい、建物は大丈夫？ 危険度マップで確かめましょう。

地震に関する地域の危険度マップの凡例

危険度	地域内の建物の中で全壊する建物の割合
危険度6	50 ~ 100%
危険度5	40 ~ 50%
危険度4	30 ~ 40%
危険度3	20 ~ 30%
危険度2	10 ~ 20%
危険度1	0 ~ 10%



QRコード(市HP)



拡大版は、市HPをご覧ください。

地震に関する地域の危険度マップとは

地震に関する地域危険度マップとは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。

震度分布に建物の構造(木造・非木造)と築年データにより、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。

この「危険度」は、50mごとに分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。危険度の数値が大きいほど地域の建物が受ける被害が大きくなります。

地図凡例

- 地震発生時に通行を確保すべき道路
- 高速
- 国道
- 県道
- 鉄道
- 水域・河川
- 市境界

家屋の倒壊例



阪神淡路大震災



新潟中越地震



熊本地震



東日本大震災

全壊とは？

「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を指す。具体的には、平成13年6月に国によって定められた「災害の被害認定基準」の中で「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されている。

全壊

居住のための基本的な機能を失った状態を指す。



- 住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。
- 外壁や柱の傾斜が1/20以上である。
- 地盤の液状化等により基礎のいずれかの辺が全部破壊

大規模半壊



居住する住宅が半壊し、構造耐力上主要な部分の補修を含む大規模な補修を行わなければ居住が困難なもの。

半壊



居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指す。

半壊に至らない



被害が軽微で半壊には至らない状態を指す。

※背景出典：基盤地図情報基本項目(国土地理院ウェブサイト <https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>)を活用しています。

※このパンフレットは内閣府が作成した地震防災マップを参考に作成しています。